

第5回横浜市庁舎駐車場指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和6年10月4日(金) 9時30分～12時50分
開 催 場 所	市庁舎18階みなと3会議室
出 席 者	中村文彦委員長、池田陽子委員、檜垣萌美委員、伏見達委員、吉岡耀子委員(計5人)、事務局9人
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開(議事2以降)(傍聴者0人)
議 題	1 委員会の公開・非公開について 2 審査について 3 面接審査(プレゼンテーション及び質疑応答)について 4 審議結果について
決 定 事 項	1 第5回委員会は、議題2以降を非公開とする。 2 ブロックAの指定候補者に「タイムズ24株式会社連合体」、次点候補者に「日本パーキング株式会社」と決定。ブロックBの指定候補者に「タイムズ24株式会社連合体」、次点候補者に「日本パーキング株式会社」と決定。
議 事	<p>選定評価委員5人中5人出席。半数を超えているため、本委員会は成立した。</p> <p>1 委員会の公開・非公開について 委員長から、公募の公平・公正性を担保するため、議題2以降は非公開とすることが提案された。 委員会の公開・非公開については、委員長提案のとおり決定された。</p> <p>2 審査について 事務局から、プレゼンテーションは20分、質疑応答は20分で行うことを説明した。ブロックA、ブロックBともに2団体の応募があったこと、各団体とも財務状況に支障がないこと、市税の滞納がないこと、暴力団又は暴力団経営支配法人等にも該当しないことを報告した。 また、現指定管理者の業務実績への加減点は、B評価(±0点)とすることが決定された。</p> <p>3 面接審査(プレゼンテーション及び質疑応答)について (1) 団体A ア プレゼンテーション イ 質疑応答 (委員) ソーラー街路灯はどの位置に設置するのか。道路を照らすものなのか。 (団体) 場内に設置する。場内を照らすもの。平置きを想定している。 (委員) 市庁舎の休日の利用料金を上げるということだが、休日の一般利用が増えているのか。 (団体) みなとみらいへ行くための利用者が多く、午前中でも満車になっている状態。</p>

- (委員) 満空状況の予想はどのように作成するのか。他で実績はあるのか。
- (団体) 日々の稼働状況データからカレンダーを作成し、区の担当課と連携して、乳幼児健診や併設の公会堂のイベント情報などを加え案内していく。イベント会場の近く駐車場で、自社サイトにイベント開催日を表示している。
- (委員) スマホで確認できるようにはなるのか。
- (団体) 区のサイトのトップページから表示できるように導入していきたい。
- (委員) 駐車券の紛失などよくあることは、「よくある質問」で対応するということだが、どうやって認知度を高めていくのか。
- (団体) タブレットで大きく表示し、音声案内装置を考えている。
- (委員) 熊本地震での対応は、マニュアルなどの形で生かされているのか。
- (団体) 地震の場合は例えば、震度4以上は緊急体制配備や行政の連絡体制など、水害、地震に関して、民間の物件も含め全てマニュアル化して準備している。
- (委員) 多言語対応は英語、中国語、韓国語で足りるのか。他都市での事例は。
- (団体) 住民基本台帳を確認し、まずは3か国語とした。その他の言語については、実情に応じて臨機応変に対応したい。熊本で3か国語の多言語対応をしている。
- (委員) 速やかに料金変更となっているが、頻繁に変更することは難しいのでは。
- (団体) 頻繁に変更するつもりはない。速くという訳ではなく、状況に応じて対応していくということ。
- (委員) QRコード決済の移行時期は。現金収入とキャッシュレス決済の割合は。今ある設備で対応可能か。
- (団体) 今年中には。エリアにもよるが、東京・神奈川は現金6割、それ以外が4割程度。政府が示すキャッシュレス比率と同程度。今後割合は増えていくと想定している。現金の場合は紙幣やコインの状態によって投入できないというトラブルが起こるが、通信状態が確保されていれば、そうしたトラブルが避けられる。今ある精算機で対応可能。
- (委員) 障害者区画について提案があったが、現状どうなっているのか。どういった不都合があるのか。
- (団体) 現状は特に何もない。車室の位置が目的地に近いので、障害者区画の設置目的に沿った利用ができていない事例が確認され、その都度注意はしている。ただし、トラブルになりかねないので、装置を設置することにより、そうしたトラブルを回避したい。また、カラーコーンを置く場合と比べて、動かす手間を省ける。
- (委員) 混雑緩和の手法として値上げを用いることもあり得るが、それ以外の手法を用いる理由は。
- (団体) 市区庁舎の駐車場のため、頻繁な利用料金変更は混乱を招いてしまう。施設の設置理念を鑑みて、利用者に負担を強いることなく快適に利用して貰うために、混雑状況等の情報提供をきちんと利用者に提供することを重要視して提案した。周辺駐車場の工事情報、閉鎖情報などを表示することに

よって、混雑緩和の対策をしていくが、その上で、必要であれば値上げを行う。

(2) 団体B

ア プレゼンテーション

イ 質疑応答

(委員) 駐車区画を専有することになるが、カーシェアのメリットは。収益は上がるのか。

(団体) 公用車の削減が図られる。また、電気自動車なので、災害時の電源供給として利用できる。市へ使用料を支払うことになる。

(委員) 区との調整になるが、問題はないのか。カーシェアによる行政側のメリットは。

(団体) インフラ的に整っている、自走式の駐車場に設置したいと考えている。自主事業なので、区の状況によって対応は変えていく。行政側としては、公用車の削減による適正化、効率化が図られる。

(委員) 一般利用が可となると、区役所利用者以外も利用できることになるが、問題はないのか。

(団体) 市や区と対話しながらではあるが、平日は職員のみ、土日は一般利用も可とするなどの対応とするように調整も可能。

(委員) 行政の庁舎なので、カーシェアはセキュリティ対策が課題になる。

(委員) 車番認証システムは機械に詳しくない、例えば高齢者の利用の際にはどのように対応しているのか。他都市の事例では、どうしているのか。

(団体) 通常利用者は精算機を見るため、精算機に表記をしている。現状車番認証システムは件数が少なく課題はあるので、サイン関係で促していく。例えば川崎市では、精算機で動画を流したりしている。導入の一番のメリットとしては、駐車券紛失トラブルを縮減できる。クラウドで情報を管理するため、減免措置もQRコードで可能となる。仮に減免後にQRコードを紛失しても、個別に割引券を発券することで減免対応ができる。

(委員) ミライロアプリは全ての駐車場で対応できるのか。

(団体) 精算機で減免することになる。今のところ、自社の精算機のみ。横浜市の場合、機械式駐車場以外は可能と考えている。

(委員) データ通信にトラブルがあった場合の対応はどうしているのか。

(団体) 電波障害が起きる可能性はある。無線通信のため、地下などタブレットに電波が届かない場所もあるが、その場合、エラーが表示され、割引券を発券できる機能を有している。

(委員) 車番認証システムを案内するための動画の取り組みはとてもよいが、ゲートが上がる際に音声での説明はあったりするのか。音声でのフォローは重要だと思う。

(団体) 動画を流しても見てもらえないことも多いので、工事現場や駅のように精算機で音声を流す対応もしている。

- (委員) パーク&ライドも区役所利用者以外の利用を想定しているのか。割引を導入すると思われるが、公共交通機関の利用をどのように把握するのか。
- (団体) 土日の利用を想定している。交通系 I Cカードの乗降履歴で確認している。
- (委員) 実績はあるのか。地下鉄のみを対象とするか。地下鉄以外も可にしたほうがよい。
- (団体) 地下鉄の湘南台駅で導入している。地下鉄を想定しているが、それ以外も検討していく。
- (委員) B C P対策の中で雪害について言及していたが、危機的な不可抗力としてあるのか。
- (団体) 震災とは異なり、雪害は毎年のように発生する悩みであり、地下のスロープなど安全性が懸念される事項のため、抽出した。
- (委員) B C P対策は駐車場の使い方含め具体的にはどう想定しているのか。
- (団体) 災害対応では遠隔操作でゲートを開けたりすることを想定している。その他、カーシェアを災害対策用の車両として使用したりする。また、東日本震災時は自社のレンタカーを供給したりした。

4 審議結果について

審議結果は、ブロック Aについては、団体 Aが 1,292 点、団体 Bが 1,346 点となった。「タイムズ 2 4 株式会社連合体」(団体 B)を指定候補者、「日本パーキング株式会社」(団体 A)を次点候補者とすることを決定した。

ブロック Bについては、団体 Aが 1,273 点、団体 Bが 1,331 点となった。「タイムズ 2 4 株式会社連合体」(団体 B)を指定候補者、「日本パーキング株式会社」(団体 A)を次点候補者とすることを決定した。

(講評)

- ・基本的には、団体 Aはしっかり人員を配置し、公共に求められることに対応する提案で、団体 Bは刷新的なシステムを導入し、駐車券紛失等の問題に取り組む提案だった。
- ・団体 Bは車両認証や QRコードによる入出庫管理など、抜本的に課題を解決しようとする提案だった。
- ・団体 Bの機器の導入による課題解決は自社の費用負担で、利用料金値上げに頼っていないことが評価できる。
- ・団体 Aは利用者に寄り沿った形で運営してきたが、それを得点に反映することが難しかった。
- ・横浜市もかなり高齢化が進んでいるので、人に丁寧に寄り添う視点は必要。
- ・駐車場経営の論点として、技術ときめ細かい対応、両団体のそれぞれの強み、課題が出た提案だった。
- ・今後は、市庁舎を含むブロック Aとその他駐車場のブロック Bで、採点の考え方などを変えることを検討してもよいのではないかと感じた。
- ・第 3 期指定期間は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったため、現指定管

	<p>理者の評価が難しかった。</p> <p>(特記事項)</p> <p>指定候補者となったタイムズ24株式会社連合体(団体B)は優れた事業提案を行っているが、駐車場のデジタル化へ迅速な対応が難しい利用者、特に高齢者などにも配慮した施設管理・運営を行って貰いたい。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 資料1 審査に関する確認事項</p> <p>(2) 資料2 スケジュール</p> <p>(3) 資料ア 収支シミュレーション</p> <p>(4) 資料イ 財務の健全性</p>